

## 桜木町 小森 晴貴

今回は、世界最大規模の乳牛共進会（ワールドデーリエキスポ）の視察から始まり、農場見学とホームステイ、マディソン市での農畜産物の流通・販売状況の調査として、ファーマーズマーケット見学や、州議会議事堂・ウィスコンシン州立大学・ABS（家畜精液会社）を視察しました。

一番の見所であるワールドデーリエキスポへ行った時には、まず人の多さ、機械の展示の多さ、そして牛の多さに驚きました。また、普段カタログやパンフレットでしか見られない牛を間近で見る事ができ、その大きさ美しさには目を奪われました。

5日間も及ぶこのショーの中で最も盛り上がるとされ、チャンピオン戦も行われる最終日を見学したのですが、規模が大きいだけあって演出も素晴らしく、暗い会場の中音楽が流れ、スポットライトに照らされ、観客の声援を浴びながら出てくる牛達の姿は感動的で、自分にとっても良い刺激を与えてくれました。

チーズブランドを持っている酪農家へ行った時には、やはり有機で作られた物が人気で、乳牛の場合は生まれた時から有機飼料で育てて搾り牛にするという大変手間のかかるものですが、そういった物で作られる商品は価格も高いのですが、一番人気商品だという事です。世界的に見ても、安全安心なものを消費者は求めているのだと改めて感じさせられました。

ホームステイでは、ハイランドという肉牛300頭飼育している農場へ行き、そこでの文化を学んだり、一緒に食事をしたりと楽しい時間を過ごす事ができました。ここでも、肉牛を管理放牧しており、その全てが有機飼料を与えているという事で、とても高く評価されている農場でした。毎週土曜日にステイトキャピタルを囲んで行われる、ファーマーズマーケットには出店している内の一人でもありました。

ファーマーズマーケットは、約1kmに乳製品や花卉、野菜、果物など店が200ほど出店しているとのことで、朝早く見に行ったのですが、大変な賑わいで街の活性化に繋がる大きな役割を担っているようでした。

他にも大学へ行き、飼料の貯蔵法を学んだり、畜産精液会社ABSに行った時には、徹底した管理の下育てられた800頭の牛から約2%の牛が種牛として活躍し、その精液の管理は、とても厳重なものでした。

最後にこの視察を通して実感した事は、国民一人ひとりが地域のために何が必要かを考え生活している素晴らしい国でした。

今回、このような貴重な体験を与えて下さいました組合長並びに農協の皆様、御理解いただいた組合員の皆様、本当に有難うございました。